

**製品名: FAST ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10840**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	61kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FASTK
別名	FASTK; Fas-activated serine/threonine kinase; FAST kinase
遺伝子 ID	10922.0
SwissProt ID	Q14296
免疫原	抗血清はヒト FAST 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410

**背景**

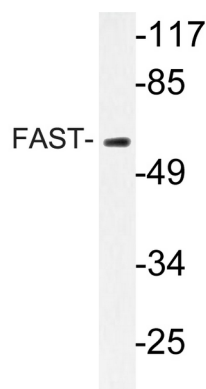
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリン/スレオニンタンパク質キナーゼファミリーのメンバーです。このキナーゼは、Jurkat 細胞における Fas を介したアポトーシスにおいて急速に活性化されることが示されています。Fas 受容体のライゲーシオン

に応答して、アポトーシスを促進する核 RNA 結合タンパク質である TIA1 をリン酸化します。コードされているタンパク質は、リンパ球アポトーシスの強力な誘導因子です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つっています。他のバリエーションも存在しますが、それらの完全長の性質はまだ決定されていません。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ATP + [Fas 活性化セリン/スレオニンタンパク質] = ADP + [Fas 活性化セリン/スレオニンリン酸化タンパク質],機能: Fas を介したアポトーシスは、FASTK 脱リン酸化と TIA-1 リン酸化によって特徴付けられます。両方とも活性化されており、FASTK を介した TIA-1 の活性化はアポトーシスにおいて重要な役割を果たします。 ,PTM: セリン/スレオニンがリン酸化されています。 ,類似性: FAST タンパク質キナーゼファミリーに属します。 ,類似性: 1 つの RAP ドメインを含みます。 ,サブユニット: TIA-1 と相互作用します。 ,組織特異性: 心臓、脳、胎盤、肺、肝臓、骨格筋、腎臓、膵臓で発現します。 ,

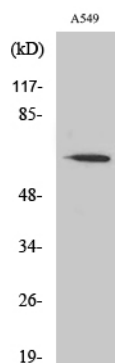
## 研究分野

-

## 画像データ



FAST 抗体を使用した A549 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



FAST ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析